建設委員会資料
Ｒ３．６．24

資料番号	13

二期トンネル整備工事の進捗状況について

水　道　課

１　要旨

平成 18 年８月に発生した送水トンネル崩落事故及び平成 30 年７月豪雨災害を踏まえ，海田から呉・江田島方面への送水トンネルの二重化を図るため，二期トンネル整備を推進しており，５月末時点の進捗状況を報告する。

２　進捗状況

○　工事は，海田～矢野工区，矢野～二河工区の２工区に分割し，３交替，24 時間体制で進めており，全体延長 14.3 kmのうち 8.4 kmを完了している（進捗率 58.7%）。

○　令和２年３月に地質を変更した変更計画において，令和３年５月末の目標とした掘進延長 10.7 kmに対し，8.4 kmの工事進捗となっており，2.3 km工事進捗の遅れが生じている。

○　遅れている原因は，変更計画で想定していた岩盤よりも，硬い岩盤が長い区間出現していることによるものである。

【変更計画における掘進延長と進捗率】

区分	工事延長【A】	掘進延長（km）			進捗率（%）		
		５月末時点の目標【B】	５月末時点の実績【C】	差（C－B）	５月末時点の目標【D】（B/A）	５月末時点の実績【E】（C/A）	差（E－D）
海田～矢野工区	4.5	4.5	3.4	-1.1	100.0	75.6	-24.4
矢野～二河工区	9.8	6.2	5.0	-1.2	63.3	51.0	-12.3
計	14.3	10.7	8.4	-2.3	74.8	58.7	-16.1

【岩質ごとの延長】

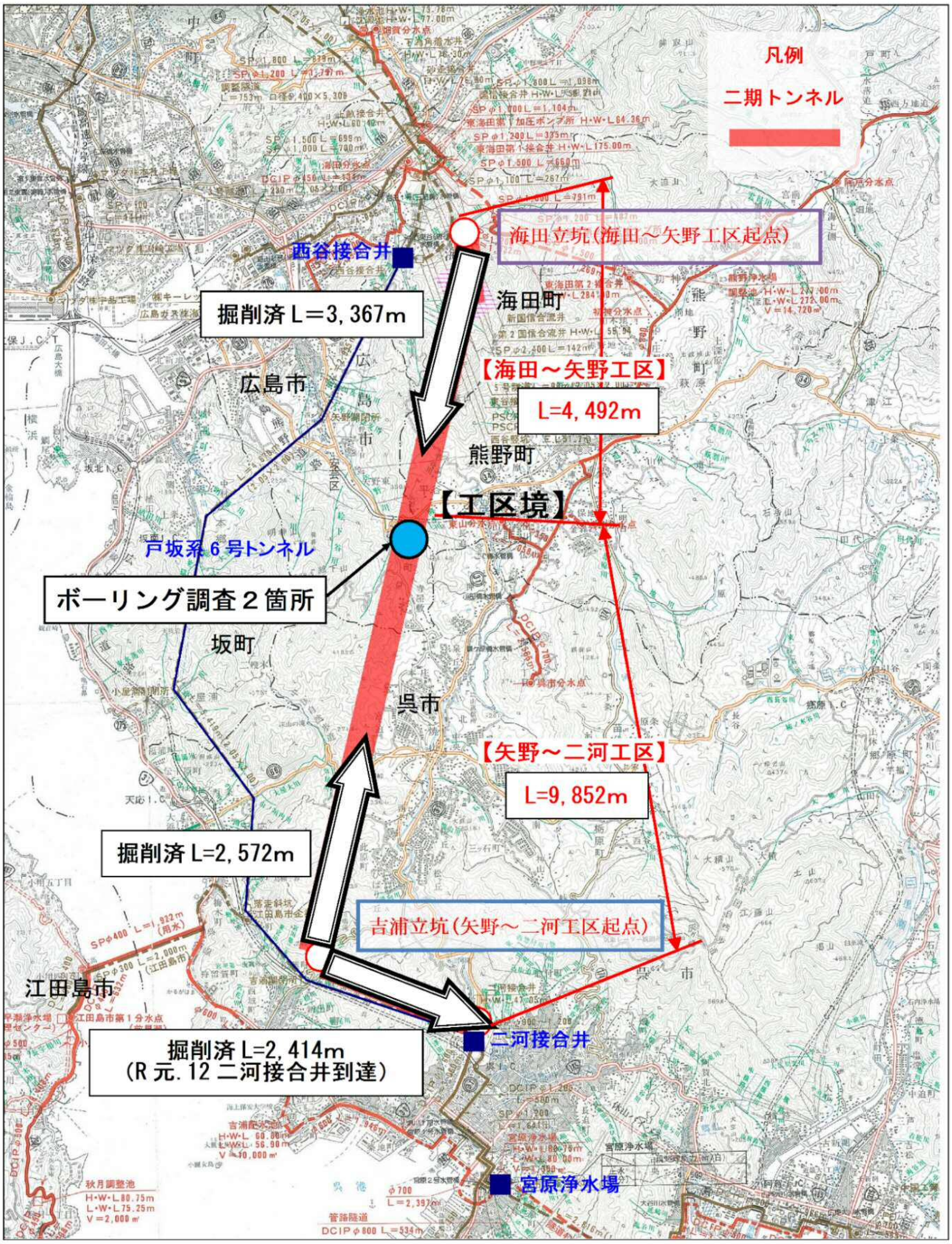
区分	変更計画におけるトンネル掘削約 8.4 kmの地質						
	計画（m）			実績（m）			
	海田～矢野工区	矢野～二河工区	計【A】	海田～矢野工区	矢野～二河工区	計【B】	差（B－A）
軟岩	407	31	438	0	123	123	-315
中硬岩	1,646	2,937	4,583	1,321	1,404	2,725	-1,858
硬岩	1,314	2,018	3,332	2,046	3,459	5,505	2,173
計	3,367	4,986	8,353	3,367	4,986	8,353	0

３　今後の対応

○　これまでのトンネル掘削実績による地質と当初の地質調査結果を対比し，残りの区間の地質の見直しを進めているが，精度を向上させるため地質調査（ボーリング調査）を実施し，今後の事業進捗の見通しを整理する。

○　二期トンネルは，非常時の断水被害の影響を回避するうえで重要な施設であり，早期の完成が望まれるため，引き続き３交替制で早期完成に向けて全力で取り組む。

位　置　図



地理院地図の一部を使用（承認番号　平成 20　中復第 106 号）

【工事概要】

工区	海田～矢野工区	矢野～二河工区
工事場所	安芸郡海田町東海田～広島市安芸区矢野町	広島市安芸区矢野町～呉市二河峡町
工事延長	L=4, 492m	L=9, 852m
工事費	5, 694 百万円	7, 913 百万円
工期	平成 28 年 12 月 1 日～令和５年３月 15 日	